

木造大日如来坐像・木造不動明王坐像・木造愛染明王坐像 3 軀

木造大日如来坐像・木造不動明王坐像・木造愛染明王坐像

もくぞうだいにちによらいざぞう・もくぞうふどうみょうおうざぞう・もくぞうあいぜんみょうおうざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 青蓮寺(せいれんじ)

所在地

大阪市天王寺区生玉寺町 3-19

紹介



木造大日如来坐像・木造不動明王坐像・木造愛染明王坐像

生國魂神社の別当寺(べつとうじ)である生玉宮寺(いくたまぐうじ)の遍照院(へんじょういん)・医王院(いおういん)の法灯を継ぐ真言宗寺院に伝来する、生玉宮寺由来と伝える彫像 3 軀で、不動明王と愛染明王には、享保 2 年(1717)と同 4 年(1719)の京仏師による造立銘がある。市域にのこる江戸時代の優れた在銘彫刻である。